

なら女性活躍推進倶楽部事業【奈良県】



総事業費	2,800 千円
交付金額	1,400 千円

地域の実情と課題

・県の女性の就業率は依然全国最下位で、県の調査結果では、固定的性別役割分担意識は減少したものの全国に比べ高く、男女ともワークライフバランスの実現が困難と感じている。

・未就労の女性の6割が働きたい意向があるが、有効求人倍率は多くの職種で高く、企業では人手不足が深刻となっている。そこで、企業における女性の就業・活躍を阻害する要因を、①女性の希望と企業の求めるものに齟齬があること、②「女性活躍」の必要性を経営者が認識しているところと十分認識していないところが二極化していること、との2点と分析した。

事業の特徴

県内の女性活躍の気運を高めるとともに女性が個々の希望に応じて活躍できる環境を整備するため、官民をあげて取り組む地域における女性活躍の総合的な支援体制として、平成29年12月、「なら女性活躍推進倶楽部」を創設し、県内企業・事業所に会員登録いただき、男性も女性も働きがいを感じ、いきいきと働き続けることができる職場づくりに取り組んでいる。

事業の効果

・会員企業の魅力と求人情報、その他倶楽部活動内容の発信ツールとして活用するため、「なら女性就職応援ナビ」の運営を開始した。

・再就職応援フェスタでは、昨年度に引き続き参加者からヒアリングを行い企業ブースへ誘導する「再就職コンシェルジュ」を配置。実際の就職へ結びつくなど効果がみられた。(出展企業15社、参加者61名)

・倶楽部統一取組として、オレンジ・パープルリボンキャンペーンを実施。支援機関を含む14企業等が取組に参加。啓発グッズの窓口設置やHPでの取組掲載など、企業の主体的な取組が目立った。またイオンモール奈良登美ヶ丘店での啓発イベントを会員企業とともに実施した。

目的・目標

県内のより多くの企業が性別にかかわらず誰もが働きやすい職場となることを目的に取り組んでおり、令和6年までになら女性活躍推進倶楽部会員数200という目標を掲げている。

※令和5年2月末の登録数は155企業、事業所数800

連携団体

○なら女性活躍推進倶楽部支援団体

●事業への広報協力 ●女性活躍に向けた取組を実施

【構成】

経済・労働関係	16団体
人材育成関係	2団体
行政	3団体

今後の課題

「なら女性活躍推進倶楽部」は設立より5年が経過し、関係団体とともにさまざまな取組を展開してきた。その中でこれまで事業の柱として構成していた「企業の魅力発見・発信」、「企業と女性が出会う場の提供」、「企業間交流の促進」の3柱における各事業について、実施方法や目的等について改めて見直しを行う必要があると認識している。よって来年度については、各事業における取組を集約し、一体的に実施することで、より効果的な事業成果につながるよう取り組んでいきたい。

事業の概要

【①企業の魅力発見・発信】

女性の就業応援ジャーナル「FIELD」 第4号を発行

就業を希望する女性たちを応援するため、様々な場所（フィールド）で、自分らしく、いきいきと働き、活躍する女性たちの声や、県内企業の魅力を届ける、女性の就業応援ジャーナル「FIELD」。県の就職相談窓口や公立図書館などで手に取って読むことができます。



ポータルサイトの制作・運用

会員企業の魅力発信と企業の求人活動の活性化、またそこで働きたい女性の就職マッチング支援を図るため、「なら女性就職応援ナビ」を作成しました。倶楽部活動の取組やこれまでに作成した動画やジャーナル、そして会員企業の紹介や求人情報までを一元的に集約・発信します



【②働きたい女性が企業と出会う場づくり】

女性のための再就職応援フェスタin イオンモール大和郡山



倶楽部会員企業が出展するマッチングイベントは、昨年度よりも多くの方にご参加いただきました。このイベントをきっかけに、採用までつながった方もいらっしゃいます。

- ◆会場：イオンモール大和郡山イオンホール
- ◆参加企業：15企業
- ◆参加者：61名
- ◆共催：奈良労働局

県内大学で企業と出会うキャリア構築講座を開催

これからの就職活動やライフデザインに活かせる講座を開催。倶楽部会員企業の若手職員も登場し、職場環境の良い企業で働く良さを語りました。

- ◆帝塚山大学「ジェンダー平等の観点からこれからのキャリアを考える」
- ◆倶楽部会員企業：(株)イベント21
- ◆生徒の感想：ジェンダー平等も考慮したうえで働くとは何か、誰でも働きやすい環境づくりとは何か、どのように取り組むのかを就職活動に活かして、これからの私を考えるきっかけになった。

【③会員間交流による企業のマインド改革】

異業種交流会



異業種交流会では、意欲ある会員同士が悩みや課題を共有。女性活躍という共通のテーマでのつながりを作っています。

- ◆第9回「わかつちやるけど・・・
～男性学の視点から男女ともに働きやすい社会を考える～」
- ◆講師：大妻女子大学 人間関係学部 准教授 田中俊之さん
- ◆参加者：30名

企業向けセミナー



自身のキャリアについて考える企業向けセミナーを実施。個人ワークだけではなく、グループワークを通して参加者同士が交流しながら自身のキャリアデザインについて考えました。

- ◆テーマ：「自分らしいキャリアデザインを考えよう！～自分を幸せにするためのキャリアとは～」
- ◆講師：一般社団法人日本経営協会 中島みちるさん
- ◆参加者：若手・中堅女性社員 17名

【倶楽部統一取組】

オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン



昨年度に引き続き、倶楽部統一取組として11月の「児童虐待防止月間」（オレンジリボンキャンペーン）、11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」（パープルリボンキャンペーン）の啓発を会員企業が企業内外で独自の取組を実施しました（参加企業数12社）。また、イオンモール奈良登美ヶ丘店で「女性に対する暴力をなくす運動イベント」を開催（11/12）し、会員企業によるワークショップも実施しました（参加者50名）。